



ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 40 号

平成29年1月1日 (年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 桶川市青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習文化財課

☎786-3211

✉shogai@city.okegawa.lg.jp



市民まつり非行防止
キャンペーン



親子ふれあいウォーク
(川田谷)



親子ふれあいウォーク
(加納)

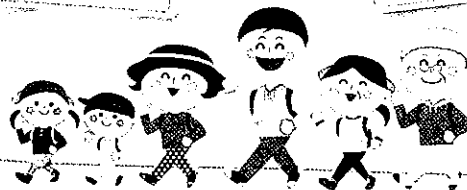
思い出いっぱいだね♪



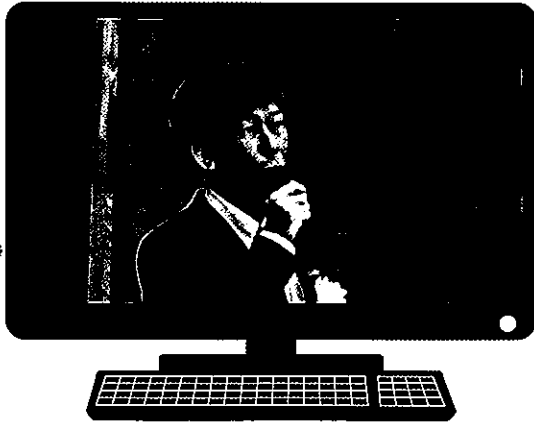
市民大会表彰式



サマーキャンプ



市民大会にて講演会が行われました



「ネット依存 ネットいじめの現状」

～家庭の親子での関わり方～

全国webカウンセリング協議会 理事長 安川 雅史氏

子どもとスマートフォン

現代はスマートフォンの普及とともにネット依存・ネットいじめなどが問題視され、トラブルも急増しています。

講師の安川雅史先生は全国webカウンセリング協議会理事長としてネットいじめ・いじめ・不登校・ひきこもり問題に取り組んでいます。まずスクリーンに映し出されたのは実際にインターネットにアップされた動画でした。ある大学生がサークル仲間と悪ふざけをしてアップしたというものでした。これが後に大変なことになるうとは、だれが予想できたでしょう。自身の就職活動にも影響を及ぼすことはもちろん、その子の親の会社まで特定され、苦情の電話が殺到したというのです。

また、たとえ親がスマートフォンを持たせない、という考えであつても、子どもがそれを納得していない場合、安価で簡単に中古スマホを手に入れることができ、wifiでインターネットに繋がってしまう現状を大人が分かっていないといけない、と先生は指摘しています。当たり前のことですが食事中や子どもと会話をしている時にスマートフォン

を見ているようではいけないし、なぜスマートフォンにはフィルタリングが必要なかを子どもが納得するまで伝えることが大切です。講演の中で、親と子の会話を再現する場面がありました。親の話し方や話の聞き方で、受け取る側も感じ方が変わると思います。

このほか、北海道の父子家庭に起こった悲劇や、何気ない意地悪、さらにはクラスメートによる無視などによって傷つき自殺を図った少女の話など様々な事例が紹介されました。

大切な子どもの命を守るため、子どもを被害者にも加害者にもさせないために、私たち大人が「自分がされて嫌なことは人にしてはいけない」「身近にいて自分をわかってくれる人を大切にしろ」ということを教えるなくてはなりません。そして、この話を広めること、子ども一人ひとりに、学校の看板を背負っていると自覚させることです。メールやラインも送信する前に一度読み返す。返信がなくてもイライラしない。一度流した情報を削除することは大変難しいことなのです。 (西永)



第二十九回 桶川市青少年健全育成市民大会

平成二十八年十一月十九日(土)、桶川東公民館大ホールにおいて、第二十九回桶川市青少年健全育成市民大会が開催されました。

市民大会では、家庭、地域、学校が一体となり、青少年の健全育成推進を目的とした様々な事業を実施しました。開会式に続き、第一部「ネット依存、ネットいじめの現状」～家庭の親子での関わり方～と題して、全国webカウンセリング協議会の安川雅史理事長よりご講演をいただきました。

第2部では「青少年育成功労賞」の表彰が行われました。さらに、市内の小・中学生が真摯に書き上げた「私たちの主張」作文コンクール及び「家庭の日」ポスターコンクールの表彰の後、作文コンクール優秀賞の朗読が行われました。(三村)



桶川市青少年健全育成市民会議年間事業

桶川市青少年健全育成市民会議総会

五月十四日(土)、桶川東公民館大ホールにおいて、平成二十八年度桶川市青少年健全育成市民会議総会が行われました。

総会議事の前には、「青少年のネット利用の問題点」をスマートフォンを中心にと題して、埼玉県ネットアドバイザー永原敏明さんに講演していただきました。

講演の中では、子どもを加害者・被害者にならないため、親も子どもも大変危険な物を使っているのだという意識を持つことが必要とお話しいただきました。(小高)



非行防止街頭キャンペーン



7月7日(木)、午後6時から桶川駅周辺で、非行防止街頭キャンペーンが行われました。夕方さわやかな風が吹く中、たくさんの構成団体が集まり、皆様にリーフレットなどの配布とともに非行防止を呼びかけました。

市民まつり 非行防止キャンペーン

11月3日(木)、快晴に恵まれた秋空の下、市民まつりが開催されました。当市民会議構成団体及び関係者の方々によって、桶川小学校・中山道にて風船やリーフレットを配布しながら、青少年非行防止の大切さを訴えました。(小杉)



サマーキャンプin秩父

青少年相談員主催のサマーキャンプが八月十三日(土)、十四日(日)の一泊二日で秩父市の橋立川キャンプ場において開催されました。

一日目はキャンプ場で、班ごとに夕食のカレー&フルーツポンチの食材争奪戦を行いました。その後、川遊びや火おこし教室、夜はキャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。夕食作りでは、手に入れた食材を使い、各班で協力して特徴ある美味しいカレーが出来上がりました。

二日目は朝食&昼食作りに始まり、キャンプ場を出て、長瀨駅に向かい、宝登山に登りました。

二日間の様々な体験を通じて児童はたくましく成長したように見えました。

2016おけがわ春のふれあいフェスタ

五月八日(日)、晴れ渡る青空のもと、駅西口公園、桶川市民ホールにおいて、二〇一六おけがわ春のふれあいフェスタが華やかに開催されました。

「共に生きることを目指す」このお祭りの趣旨と、昨年引き続き「東日本大震災復興支援 がんばろう日本」をスローガンに掲げ実施しました。加えて、開催直前に発生した熊本地震の被災地に向けて、災害義援金の募金箱を全六十三団体の皆様に設置していただきました。来場者数一万七千人。今年も事故なく大盛況のうちに終了することができました。(渋谷)

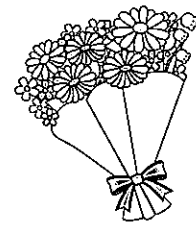


コンクールの入選者が表彰されました

青少年育成功労賞表彰



市民大会当日の市民会議表彰では、「青少年育成功労賞」として、青少年の育成に顕著な功績のあった個人や団体の皆様を表彰しました。また、市内小・中学校の児童・生徒が夏休みに取り組んだ「私たちの主張」作文コンクールでは613点、「家庭の日」ポスターコンクールでは219点の応募がありました。それぞれ優秀賞6点、優良賞6点の入賞者の表彰も行いました。表彰された皆様や作品を紹介します。（敬称略）



●個人の部
 桶川ヤンキーススポーツ少年団
 小笠原一隆
 (社)桶川青年会議所
 高橋 忠史
 鴻巣地区保護司会桶川支部
 塩澤 紀子

桶川地区更生保護女性会 柿沼ゆき子
 桶川市子ども会育成連絡協議会 笹倉 玲子
 桶川合気道連盟 姫野 忠正
 桶川レッドサッカースポーツ少年団 水野 彰二
 桶川カーデインルスポーツ少年団 西鷹 雅則
 桶川ジュニアバレーボールクラブ 岩田 真澄
 桶川東JVC 元場 博之
 桶川ソフトテニススポーツ少年団 岡本 洋子
 桶川レグルススポーツ少年団 小川 善則
 桶川北ミニバスケットクラブスポーツ少年団 小野 創
 ●団体の部
 桶川市体育協会川田谷支部

優秀賞作品



「家族みんなでお夕飯」
 日出谷小学校四年 矢澤 史哉



「家族旅行」
 桶川中学校二年 久保 彩美

優秀賞

家族みんなでお夕飯
 日出谷小学校四年 矢澤 史哉
 わたしの家族
 桶川西小学校六年 門崎 悠希
 浴衣でお祭り
 桶川小学校六年 水野 寧々

「家庭の日」ポスターコンクール入選者



優良賞

家族旅行
 桶川中学校二年 久保 彩美
 笑顔で行ってらっしゃい
 桶川中学校三年 野口 莉花
 大切な家族
 桶川西中学校三年 深谷 晏里
 家族でぶどう狩り
 桶川小学校六年 倉持 結
 思い出に残った夏休み
 桶川小学校六年 野田 紗永
 家族で動物園
 桶川小学校六年 平原 愛菜
 それぞれの仕事
 桶川東中学校一年 吉田 陽菜
 野原の中の仲良し家族
 桶川西中学校一年 関 奈那海
 それぞれの家族
 桶川東中学校三年 小川さら紗

青少年育成功労賞、作文・ポスター

「私たちの主張」作文コンクール入選者



優秀賞

差別のないみんな仲良しな世の中へ
 加納小学校六年 栗原美百合

なぜ勉強をしなくてはならないのか
 桶川小学校六年 山口 心海

未来の町が豊かになるには
 桶川東小学校五年 星 漣音

未来につなげる
 桶川中学校三年 野口 莉花

日常の中にある大切なもの
 加納中学校三年 石岡 実穂

今の私は。
 桶川中学校二年 島山 莉子



講評

作文は、未来の自分や社会について、様々な角度からしっかりと見つめている内容がとてもよく書かれていました。どの作品もはっとさせられたり、頼もしく思ったりと、感じることの多いものでした。

ポスターは、家族の良さや、その温かさなどを感じた瞬間が、素晴らしい工夫を凝らして表現されており、その発想にとっても感心しました。

皆様の考えや思いは、みずみずしい感性によってしっかりと文章や絵で表され、沢山の人たちに伝わりました。(呈)

優良賞

コミュニケーションの大切さ
 桶川東小学校六年 佐久間 姫花

自分より人のために
 加納小学校五年 吉野 さくら

わたしの周りの友達
 加納小学校四年 小坂 鞠亜

当たり前前ことを当たり前前に行く
 桶川中学校一年 西田 実里

私たちの主張
 加納中学校二年 内山 愛華

二年生になって意識していくこと
 桶川西中学校二年 菊池 美風

ポスターコンクール



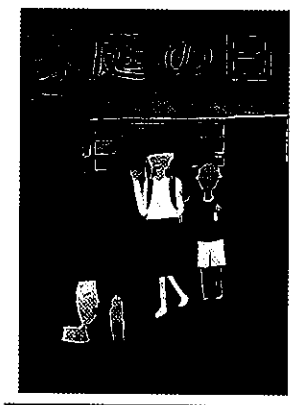
「浴衣でお祭り」
 桶川小学校六年 水野 寧々



「わたしの家族」
 桶川西小学校六年 門崎 悠希



桶川西中学校三年 深谷 晏里
 「大切な家族」



「笑顔で行ってらっしゃい」
 桶川中学校三年 野口 莉花

青少年育成埼玉県民会議より表彰

十一月二十一日(月)、青少年育成埼玉県民会議発足五十周年記念式典が行われました。式典において、平成二十八年度青少年育成埼玉県民会議表彰が行われ、桶川市青少年健全育成市民会議が団体として青少年育成功労賞を受賞しました。



2016親子ふれあいウォーク

加納地区

十月八日(土)、小雨の降る中、加納地区のふれあいウォークが開催されました。四十六名の参加者が、今年度は加納小学校をスタート&ゴールに、四つのチエックポイントを巡るウォーキングを楽しみました。



最初に訪れた氷川諏訪神社では、小針領家獅子舞保存会のご協力

川田谷地区

十月二十二日(土)、川田谷地区のふれあいウォークは百十四名の参加者で行われました。

午前九時過ぎに農業センターをスタートし、最初の岡村会館では、オケちゃんとの写真撮影をしました。その後、諏訪神社、市場集会所、普門寺を周りました。チエックポイントでは、スタンプを集め、クイズポイントではヒントを元に答えを探しました。最後のルーエハイムでは、クイズの答え合わせしてもらい、ゴールの農業センターへ。



約八キロメートルの道のりはあい

により、四百年続く小針領家ささら獅子舞で使用する獅子や太鼓などの道具を展示、説明していただき、地域の文化に触れることができました。

そして舎人公園、赤堀川沿いを歩き五町台集会所、後谷調整池、わんぱく村を巡りました。大きなコイが沢山いた赤堀川、日本の技術力の高さを感じた新幹線と圏央道の立体交差、四百世帯分もの消費電力を発電している後谷調整池の太陽光発電施設ソーラーオンザウォーター桶川。楽しい「驚き」と「発見」があり、子どもだけでなく大人も大満足のウォーキングでした。(森下)

ひまわりのつばき

★何事も当たり前になつた心の底から湧きあがってくる「ありがとう」の感謝の一言こそ平和への声に聞こえる。(渋谷)

★誠実―まじめで、真心があること。子どもたちに対しても誠実でありたいと思う。(小高)

★一緒に遊んで「楽しいねー」、一緒に食べて「おいしいねー」、経験すること一つひとつが自分のものになり、人生がより豊かになる。(西永)

★第四十号?記念号?少し焦りました。様々な制約があり、大幅な変更はなし。今回も編集委員の熱意のこもった広報誌。多くの方に見てほしいと思います。(松村)

★何度「やめなさい」と言われても、部屋の中でキャッチボールをする兄

編集後記

子どもたちが次代を担うものとしての誇りと自覚を持ち、心身ともに健全に成長していく。子どもたちを一人前に育て上げることは、大人たちの責務です。

桶川市青少年健全育成市民会議では、家庭・学校・地域の三者が一体となり、様々な活動を通して、子どもたちの健やかな成長のために活動しております。

弟。また今日も。叱った瞬間三人揃ってドヤ顔(笑) そんな息子達のファン一号です。(小杉)

★先日、大学生の息子と二人で飲みに行った。振り返れば、子育ての期間はほんの僅か。今、この時を幸せと感じられることが幸せ。(三村)

★小三の息子に玉ねぎを買ってきてと頼んだら、産地に悩みながらも、考えて買ってきてくれました。成長の姿が垣間見られ、たくましさを感じました。(森下)

★今の私の周りには、子どもがいなかったら出会うことのない人たちがかり。日々楽しく過ごせるのは、私を支えてくれる子どもたちがいるからだ。最近強く思います。(対馬)

★小学生の息子は甘え盛りですが、中学生の娘はもう手も繋いでくれません。成長を喜びつつも少し寂しさを感じてしまう。親とは勝手なものですね。(呈)

高度に情報化された現代社会において、「情報の氾濫・共有化」、「人との直接的な係わりの希薄化」など、私たちが取り組まなければならぬ課題が山積しています。

子どもたちがよい環境の中で、正しい知識を持って成長していけるよう、私たち大人が深い愛情を持って接する必要があると考えます。多くの皆様の係わりの上に子どもたちのよりよい未来があると信じています。(松村)